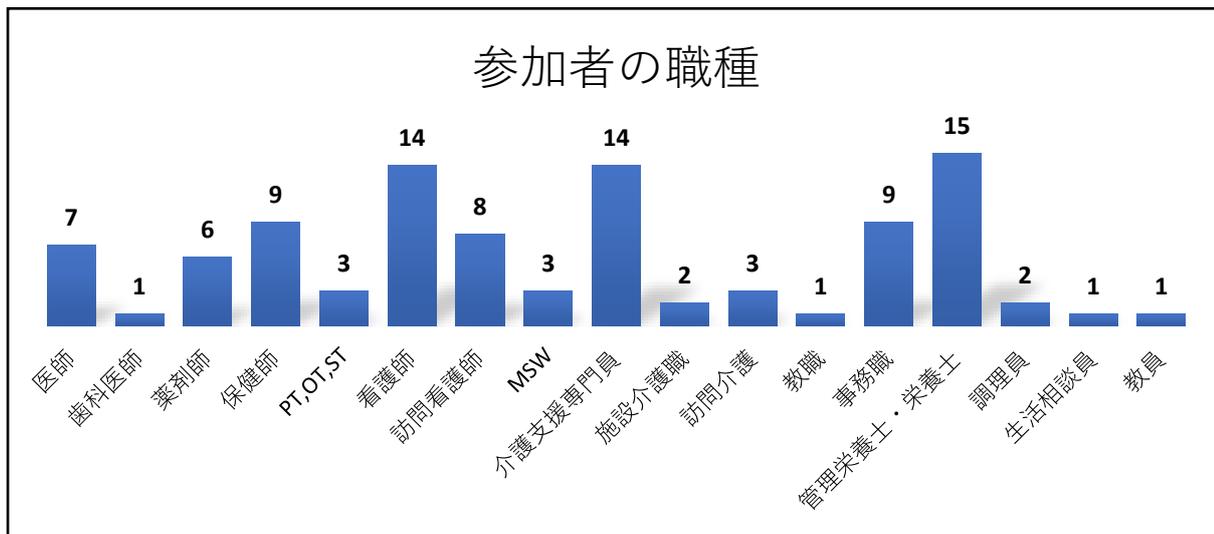
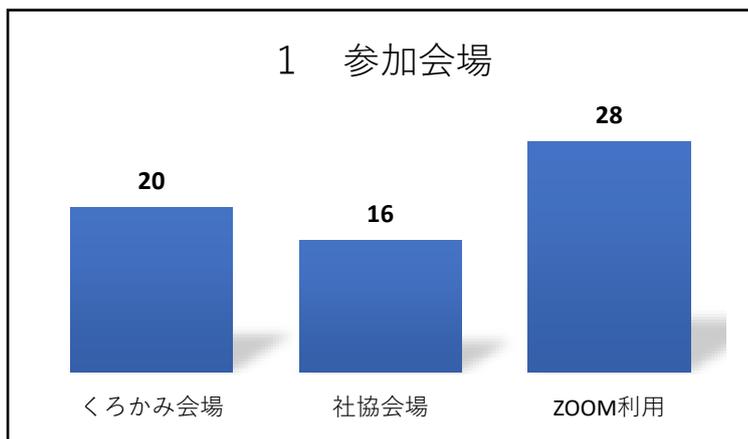


# 令和3年度第2回多職種連携会議 研修後アンケート集計結果

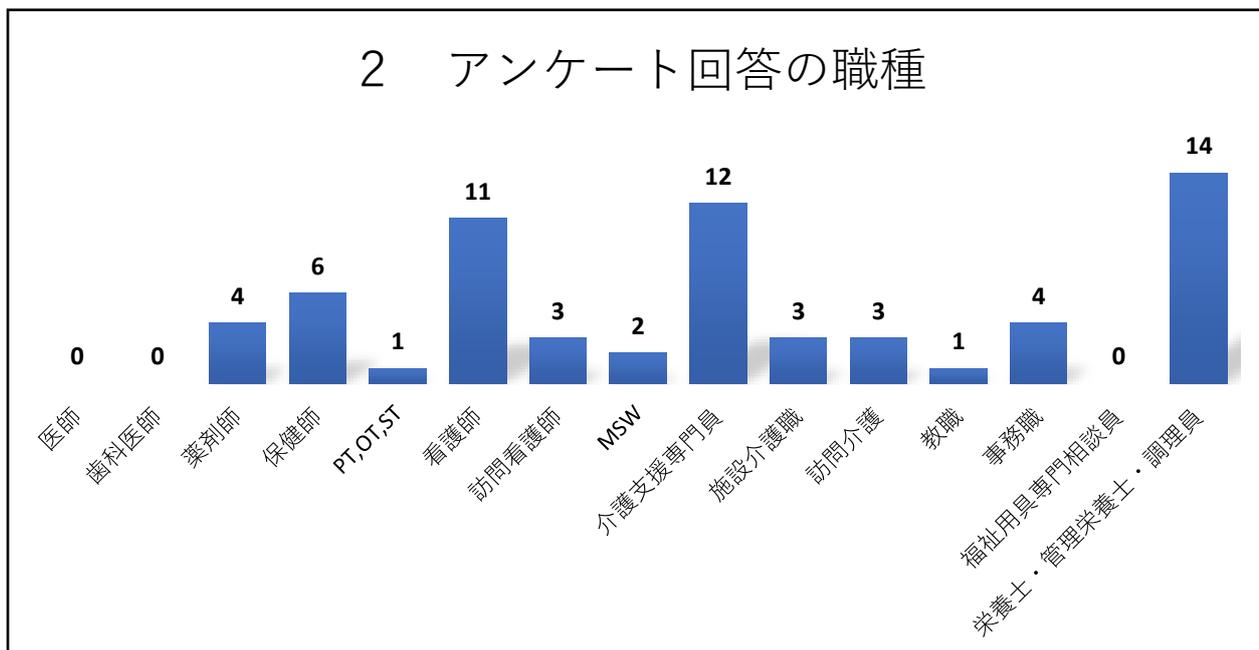
研修参加者の職種：99名



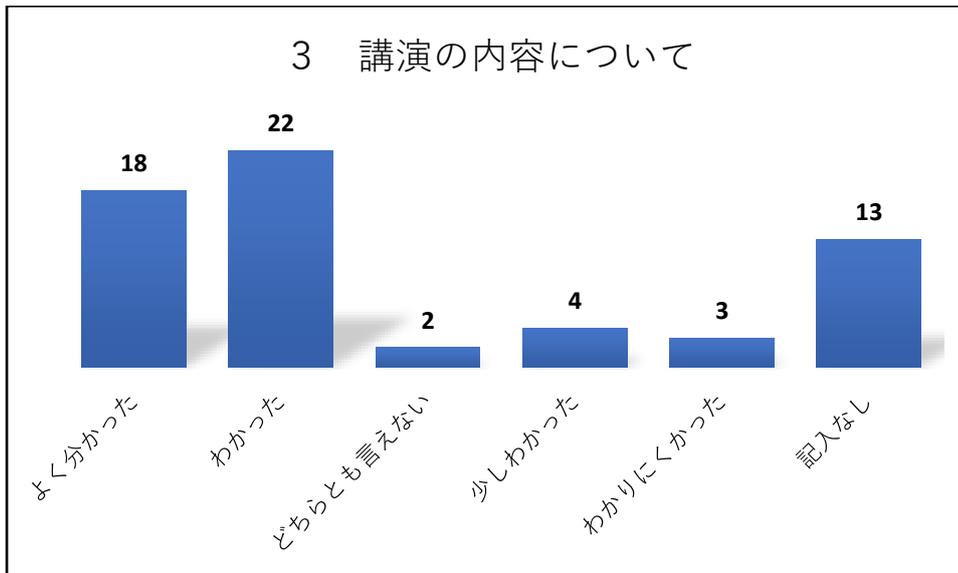
## 1 参加された会場を教えてください



## 2 現在、主に行っている職種を1つだけ選んで教えてください



### 3 本日の講演内容についてお尋ねします



### 4 本日の講演で学んだこと、考えたことなど教えてください

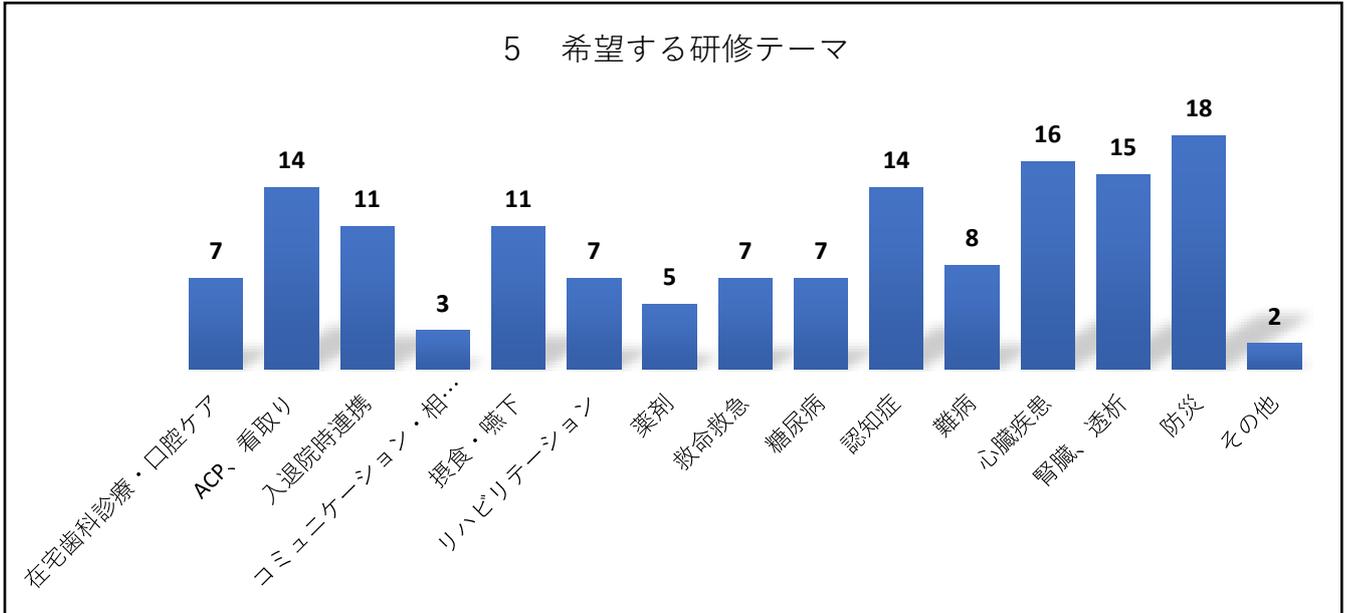
- ・ やせ型の糖尿病患者がいることを知りました。食事の指導は大変そう。(薬剤師)
- ・ 個々に合った食事を摂ることが重要。ヘルパーには難しく、食事作りにもなかなか生かせないかな？(ヘルパー)
- ・ 施設入所者の方には糖尿病の方がたくさんおられます。介護職としては食事摂取量の観察や、普段と違った症状はないか早期発見することが大切であり今後も注意していきたい。尿に余分な糖分を捨てる薬を内服している方は水分をしっかりとることが大切であり、薬の種類の確認や水分がしっかりとれるよう声かけ援助していきたい。個人的な食事のとり方を見直さないといけないと思いました。(施設介護職・施設ケアマネ)
- ・ 糖尿病患者さん一人一人に寄り添い、その人に合った治療をしていることに感動しました。患者さんの話を聞かず、一方的に話をしていたと思います。(看護師)
- ・ 最新の糖尿病治療の傾向を知ることができ、勉強になりました。食事療法についても身近な例があげられておりとても分かりやすかったです。患者様だけでなく家族にも糖尿病の人がいるため是非参考にさせていただきたいと思います。お忙しい中、ありがとうございました。(看護師)
- ・ 患者本人に聞くこと、意思を確認することの大切さを知り、勉強になりました。(施設介護職)
- ・ 糖尿病の方(インスリン注射の方)は施設入所すると、食事の管理ができると思います。注射だと看護師がしないといけないので、内服に変更できたらいいと思いました。(ケアマネジャー)
- ・ 薬物療法だけでなく、食事、運動(筋肉量おとさない)等、治療方法が色々あることを知って、患者様にも対応しやすくなりました。(看護師)
- ・ 糖尿病治療では食事・運動・薬物の3つが大事 ・ やせている人と肥満の人との治療が違う ・ 食べなければ血糖値が良くなると思っていたが逆に食べるのが大事だと学びました。(施設介護職)
- ・ 生活改善を継続していくための意欲や生活背景にあわせた方法の選択方法や指導のポイントを学ぶことができた。(保健師)
- ・ 蛋白質のとり方、高齢者が自分で料理する上で難しさを感じる。筋肉量を減らさないためにはどう指導したらよいか。(訪問看護師)
- ・ 患者さん、対象者の方に合った方法を提案すること、一緒に考えること。(栄養士等)
- ・ 高齢者にとって筋力を落とさないために食事が大切ということがわかったが、例えば高齢者世帯であれば食事の準備がままならない方がいる。また運動といっても私たちが訪問した時はできるが、訪問しない時はできていないのが現状…。ヘルパー事業所も少なく、サービスが不足しているし、お金を介護に使うということに抵抗ある方もいて、在宅で糖尿のコントロールをすることが難しい例は少なくないです。(訪問看護師)

- ・薬物治療についてこまかく分かりやすい説明ありがとうございました。やはり難しいです。今後も低血糖に注意して観察していきたいと思います。栄養指導については、筋力維持が大切とのこと、高齢でもたんぱく質をとるように働きかけたいと思います。(看護師)
- ・治療の目的は健康な人とかわらない寿命の確保だということ、今は治療を行うことでそれが可能になる。そのためには、目標設定をきちんとして血糖の安定を(低血糖にならない)図らなければいけない。また、やせている人、肥満の人の食事の摂り方の違いを教えていただいたので、単に摂取カロリーのことだけを考えて「食べちゃダメ」というのではなく、食事の内容についての話ができ、筋力維持することが必要なんだと伝えていきたい。(ケアマネジャー)
- ・以前から聞いていたがマヨネーズは悪いものではないということでした。指導する立場から言うと柔軟な対応をする必要があると思いました。(立場的に色々ちがうと思います)(ケアマネジャー)
- ・薬の内容については難しかったですが、知らなかった薬の種類や効能について知ることができ、とてもためになりました。糖尿病の治療は、ご本人の嗜好や生活の配慮も必要なため、奥が深いと感じました。栄養士さんの話の中で、手軽にタンパク質が撮れる方法として言われていた、納豆ご飯や卵かけご飯を勧めてみようと思いました。(ケアマネジャー)
- ・糖尿病治療、食事療法が変化していることが理解できた。(ケアマネジャー)
- ・筋肉を減らさないことの大切さ。(保健師)
- ・最新の糖尿の治療を聞くことができた。特に1回/週の皮下注射などすることがなかったのも、進歩したものだと感じた。また先生が、食事療法にも力を入れていらっしゃる、総合的に見て差し上げていることを知りました。減量と筋肉の維持の話も、今まで考えたこともなかったのでこういう研修会に出ないと知らない知識だったと思いました。本当に参加してよかったと思います。(看護師)
- ・薬については知らないことも多く、大変勉強になりました。(栄養士等)
- ・薬や治療の話は難しかったですが、軽症の方への指導についても参考になりました。(保健師)
- ・筋肉の維持が治療の一部であることを学びました。でもこれは非常に難しいです。運動習慣を身につけることはなかなかです。(保健師)
- ・糖尿病の治療=健康な人と変わらない生活が最終目標。食事療法のお話が、まったく知識のない自分にもよく理解できました。筋力の維持、大切なんですね。実感しました。(事務職)
- ・筋肉の維持が重要であること。治療については薬をメインに考えがちだが、普段の生活の把握が重要。(ケアマネジャー)
- ・糖尿病の薬剤について、飲んでる薬を気にかけて、飲みすぎているか、低血糖リスクが高くないか等、気を付ける必要があると思いました。食べ過ぎない、ウォーキングをするなど、日常生活で自分が意識してできることが大切なのであれば実践できるように促したい。インスリンの部位→同じ場所に打たない。健康な人と変わらない人生を目指しての治療と考え、薬、食事、運動療法を行い、日々の食事に注意すると考え、今の食事やおやつ量は減らす必要があると思いました。ラジオ体操始めたいです。やせている人、太っている人、一人一人治療が違う。正しく食べる、筋肉量の維持が大切。数値でなく人を見る。(ケアマネジャー)
- ・糖尿病の食事療法について、体重管理だけでなく、筋力、筋肉の維持が必要であること、油を摂ることも必要ということ。タンパク質をすぐに摂れるように保存食を買い置きしておく。薬の種類、名前は覚えられず難しかったが、やせた人、肥満の人などそれぞれに薬、食事指導していることがよくわかった。(ケアマネジャー)
- ・薬の種類にも色々あることが分かりました。油も上手に生で摂ることも大切なことがわかりました。(ケアマネジャー)
- ・糖尿病の内服管理、食事管理の大切さを改めて感じました。今後の業務に行かしていきたいと思いました。(ケアマネジャー)
- ・個々で治療方法、食事療法が変わってくると感じた。(ケアマネジャー)

- ・専門的な話も多く、難しかったですが、大変分かりやすく話をして頂けたと思います。(栄養士等)
- ・糖尿病は深く広い分野であり、一回だけでなく度々勉強会を行ってほしいと思う。(訪問看護師)
- ・講義内容は難しかったけど、糖尿病の治療について学ぶことができて良かった。(リハ職)
- ・糖尿病の最新の選択薬の方針が良く分かりました。水分摂取量の少ない高齢者にも SGLT2 阻害薬が実際よく使われていることもわかり、水分摂取の促し等支援が必要だと感じました。食事療法についてもわかりやすく、低カロリー摂取とならないよう油の使用など、改めて誤った知識を修繕していく必要があると考えさせられました。(教職)
- ・事務職的には患者様のコスト面も気にしていかなければいけないので、今回の先生のお話で触れていたので勉強になりました。(事務職)
- ・患者さんに合った食事指導、服薬指導などいろいろな難しさを考えさせられました。(栄養士)
- ・初めて接する患者様の聞き取りで、多くをつたえようとしてしまい、指導のポイントをしぼることが大切と思いました。(栄養士等)
- ・忙しいからと言い訳をして、たまに炭水化物に頼る。食事内容を反省し、丁寧な食事作りを心掛けたいと思う。(事務職)
- ・肥満は自己責任、糖尿病は誰のせいでもないという考え方を学びました。(MSW)
- ・色々な治療法があると思った。多職種で関わっていききたい。(MSW)
- ・2型糖尿病など体重が多い人への指導は食べないことだと思っていたが、今回の研修を通して違うことが学べた。また、いろいろ薬の種類がある中で、第一選択はどれになるのか、低血糖のリスクが高いものがどれかが分かった。(看護師)
- ・糖尿病治療薬の選択をどのようにしているかをしることができて良かったです。(薬剤師)
- ・第一選択薬について勉強になった。やせた方、肥満の方への食事指導について参考になった。(薬剤師)
- ・患者様へのアプローチの方法のなかで、患者様主体で話を進めていく大切さを改めて感じた。(栄養士等)
- ・筋肉の維持が糖尿病と密接な関係があることが良く分かりました。(薬剤師)
- ・栄養士として働いているため太田病院の竹田管理栄養士の話聞いて勉強になった。恒例の患者さんの筋肉量の維持が大切で、たんぱく質取ってくださいと伝えるが、サラダチキンや煮豆をプラスするのも一つの手だと知って、栄養指導の際、提案してみようと思いました。ありがとうございました。(栄養士等)
- ・薬の向き、不向きな状態について(病態に合った処方)、食事相談・支援におけるサポートのポイント、糖尿病の状態(肥満 or やせ)における、治療目標の違い等を学ぶことができた。自分自身も食生活に気を付けないといけないなど、改めて感じる事ができるので、とても心に刺さりました。(栄養士等)
- ・薬剤について詳しく教えていただいて勉強になった。普段は食事について糖尿の人のことを考えることが多いが、どんな薬を飲んでいるかも知っておくことが大切だと思った。(栄養士等)
- ・やせ形の方への食事のポイント、筋力維持の重要性を再認識できました。(保健師)
- ・肥満とやせの食事指導の違い(保健師)
- ・太田先生の講話では、タイプ別糖尿病攻略法が分かりやすく勉強になりました。インスリン分泌能は病院でしかわからないため、その他の場所ではうまくいかせないかもしれませんが…。治療薬についても普段あまり関わらない部分であるため、少し難しかったです。竹田さんの講話では、糖尿病治療ガイドの変更点からポイントを教えていただいたり、油や間食の選択の工夫など、今すぐにでも使える食事の話が聞け、勉強になりました。(栄養士等)
- ・相手への伝え方。やってくれるためにも。(栄養士等)

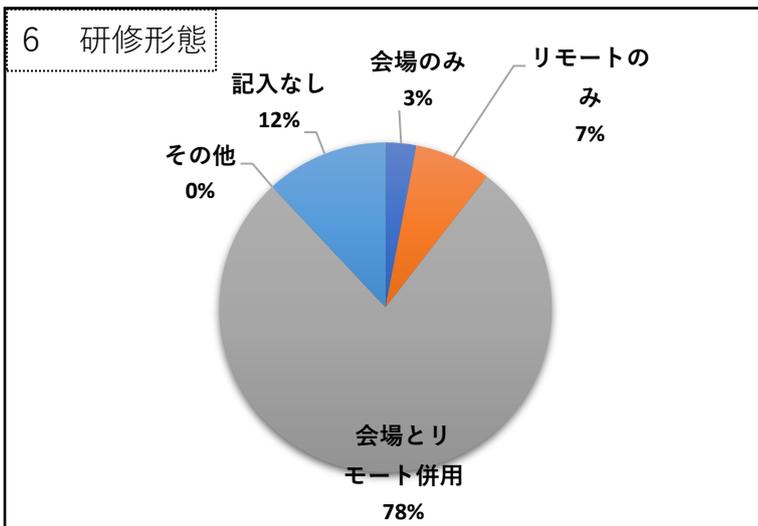
※栄養士等：栄養士、管理栄養士、調理員

5 今後の研修会のテーマにしてほしい内容について教えてください(複数回答可)

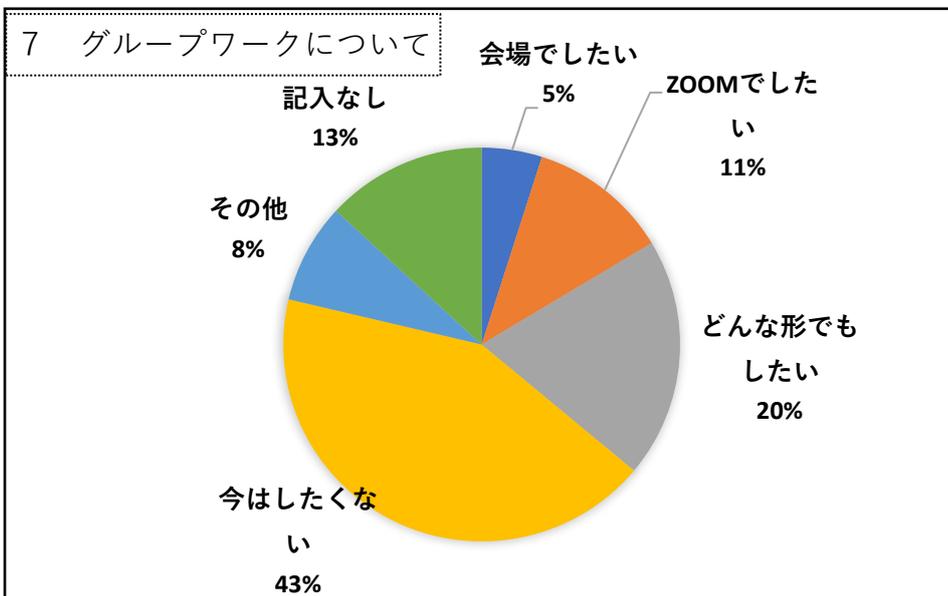


その他を選んだ人の意見：肝疾患について、食思不振と認知症の関係、解釈方法

6 今後の多職種連携会議の研修形態についてどのようにお考えですか(複数回答可)



7 研修会のグループワークについてどうお考えですか



その他を選んだ人の意見：

- ・したくないわけではないが、無理してまでしなくてもよいと思います
- ・グループワークは苦手なためなくてもよい
- ・手法としてズームが良いと思うが、ズームでのグループワークは困難かと思う

## 8 研修会開催についてなど、ご意見があれば教えてください

- ・コロナを気にしてリモート参加の良い人もいれば、リモートは苦手な会場参加が良い人もいると思うので、今回のように両方での参加ができるのが良いと思います。
- ・移動時間を考えると今のままの研修形態が良いと思います。グループワークは必要と考えますが、ZOOMができれば利用してグループワークをしてもよいと思います。
- ・いつも手配から用意までありがとうございます。協力できることがあれば言ってください。
- ・リモート参加の方の意見も良くわかって楽しかったです。今後もよろしく願います。
- ・コロナ禍で久々の研修参加でしたが、会場を分散、ZOOM 利用等で密集を避け、研修を受けることができ大変良かったと思います。
- ・当分は現状が良いのではないのでしょうか。
- ・リモートになり参加者が増えたのは関心が高いのだと思います。ただ、初期のころに比べて介護事業所の参加が減ってきている。(逆に医療関係が増えている)
- ・内容が多すぎたように感じました。内容を減らしてゆっくりじっくり教えてもらえた方が、理解が深まると思います。
- ・会場が分散することによって、自宅から近いほうへ参加できた。
- ・研修会は度々行うほうが良いと思う。いろいろな企画をありがとうございます。出前講座も良い案だと思います。ありがとうございます。
- ・本日の質問内容をお聞きし、糖尿病療養者と関わる介護職、行政の方の事例を共有し、専門家(太田先生や療養士)のアドバイスを聞く場があればと感じました。新見市の糖尿病予防についても話し合う場があればぜひ参加したいと思っています。
- ・今回のように複数の会場と ZOOM 開催が良いと思います。
- ・薬のことや血液データについては医学知識がないとわかりにくいので、もう少し補足をしていただけると幸いです。
- ・今回の研修は少し難しかったです。
- ・コロナ禍で ZOOM での参加ができるようになり、仕事終わりでも参加でき嬉しいです。ありがとうございました。